SOUNDLOOK

ステレオCDシステム

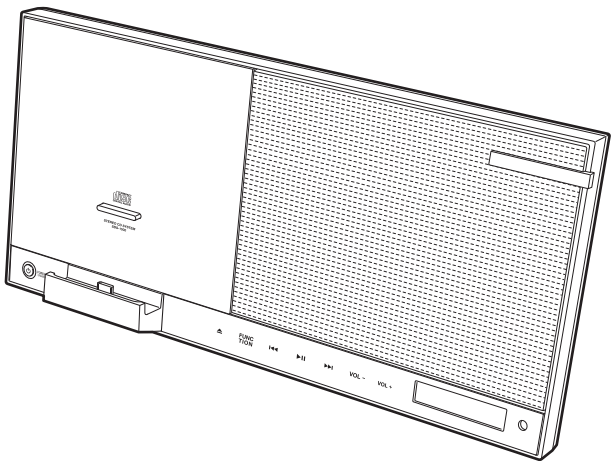
型番 SDS-1500

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書
(保証書別途添付)

このたびはサウンドルックステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目　次

安全上のご注意 ····· 1~3
各部のなまえ ····· 4
リモコンについて ····· 5
リモコン ····· 5
リモコンの使いかた ····· 5
リモコンの電池について ····· 5
リモコンの電池交換 ····· 5
準備する ····· 6
ラジオのアンテナを接続する ····· 6
ACアダプターを接続する ····· 7
バックアップ用電池について ····· 7
時計の合わせかた ····· 7
CDを聴く ····· 8
CDについて ····· 8
CDをセットする ····· 8
ディスプレイの表示について ····· 9
いろいろな演奏のしかた
プログラム演奏 ····· 10
リピート/ランダム演奏 ····· 10
“ウォークマン”を楽しむ ····· 11
“ウォークマン”ご利用の前に
“ウォークマン”対応機種 ····· 11
“ウォークマン”の充電について ····· 12
“ウォークマン”を取り付ける ····· 12
“ウォークマン”の曲を聴く ····· 13
ラジオを聴く ····· 14
プリセット機能 ····· 14
外部音声機器を聴く ····· 15
スリープ機能について ····· 15
音質調整について ····· 16
ディスプレイのバックライトについて ····· 16
お手入れのしかた ····· 17
仕様 ····· 17
故障かな？と思われたときは ····· 18
リセットについて ····· 18
アフターサービスについて ····· 19
お客様の個人情報のお取り扱いについて ····· 19

小泉成器株式会社

安全上のご注意

＊ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味

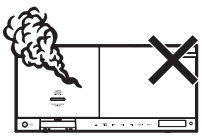
	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

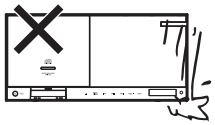
煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



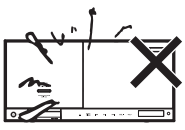
本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因となります。

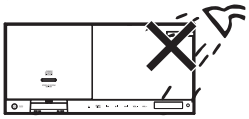


電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災·感電の原因となります。

風呂場では使用しない

火災·感電の原因となります。

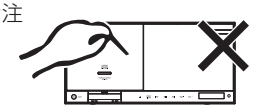


電源は交流100V専用コンセントを使用する。

火災·感電の原因となります。

本体の通風孔、ＣＤの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

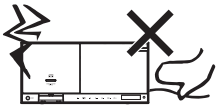
電源コードが破損して火災·感電の原因となります。

⚠警告

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷がついて、火災･感電の原因となります。
電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

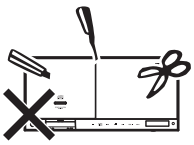
万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない　また屋外で使用しない
落雷や誘電雷により感電･やけど･機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。



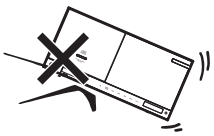
濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

改造はしない　修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「サービスセンター」にご相談ください。

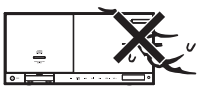


⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



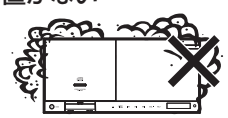
油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない
本体の変形･変質･火災･故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。

電源コードを熱器具に近付けない
電源コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。



レーザー光線をのぞき込まない（ＣＤ部）
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

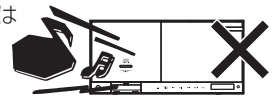
乾電池のプラス･マイナスは正しく入れる
乾電池の発熱･破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

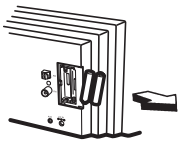
安全上のご注意

⚠注意

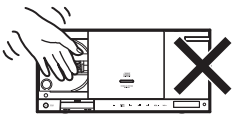
はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



長期間使用しないときは乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれで回路がショートし、火災･ケガ･汚損の原因となることがあります。

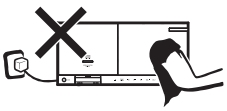


幼児がＣＤ挿入口に、手を入れないように注意する
ケガの原因となることがあります。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う
接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

“ウォークマン”使用時のご注意

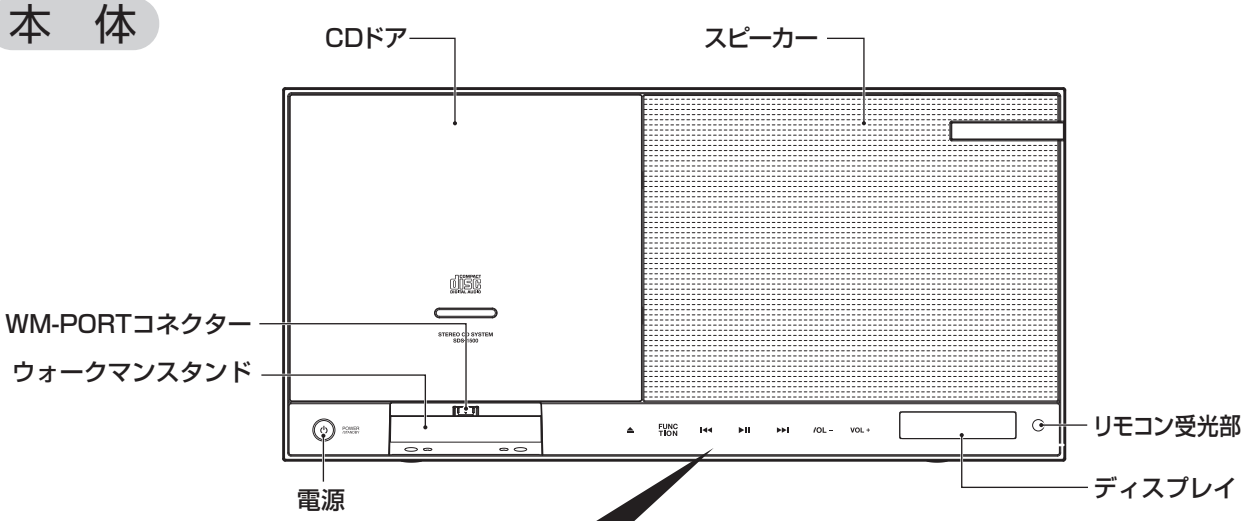
- “ウォークマン”の電源が「OFF」の状態で本機に接続すると、“ウォークマン”の電源が自動的に「ON」になります。正常動作を確保するために、“ウォークマン”が完全に起動するまで操作をしないでください。
- 音楽再生中に“ウォークマン”の取り付けや取り外しは絶対にしないでください。

商標

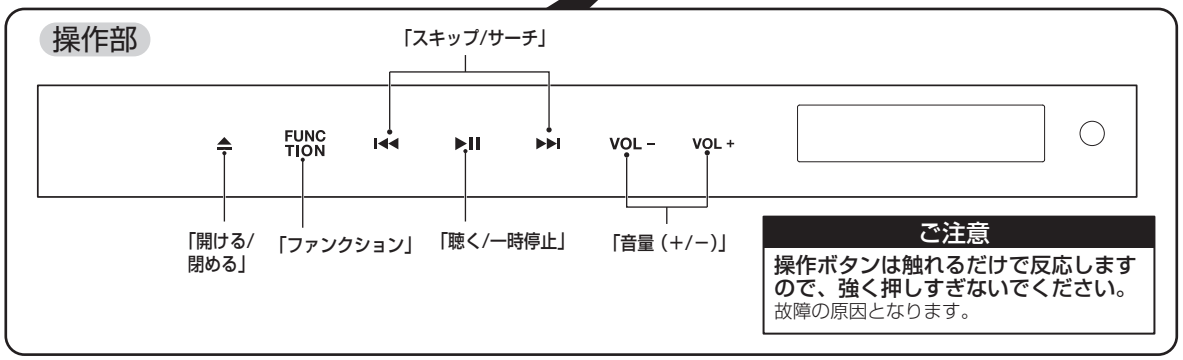
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、一般の会社名、サービス名、ソフト名、および製品名は各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

本　体



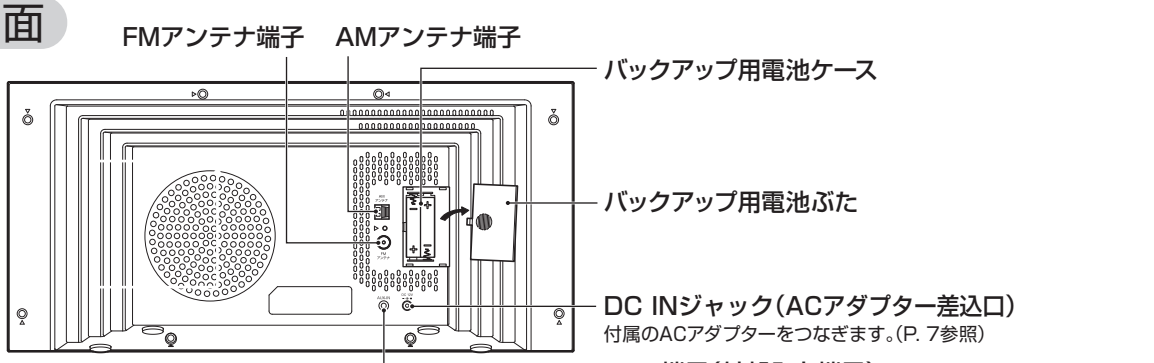
操作部



ご注意

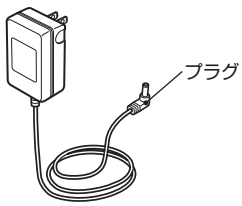
操作ボタンは触れるだけで反応しますので、強く押しすぎないでください。
故障の原因となります。

背　面



付属品

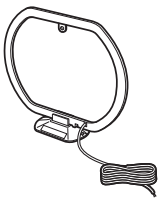
※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



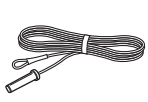
ACアダプター
（型番：OH-1028A1202000U-PSE）

※ACアダプター使用時にアダプターの表面が暖かくなる事がありますが異常ではありません。

リモコン



AMアンテナ



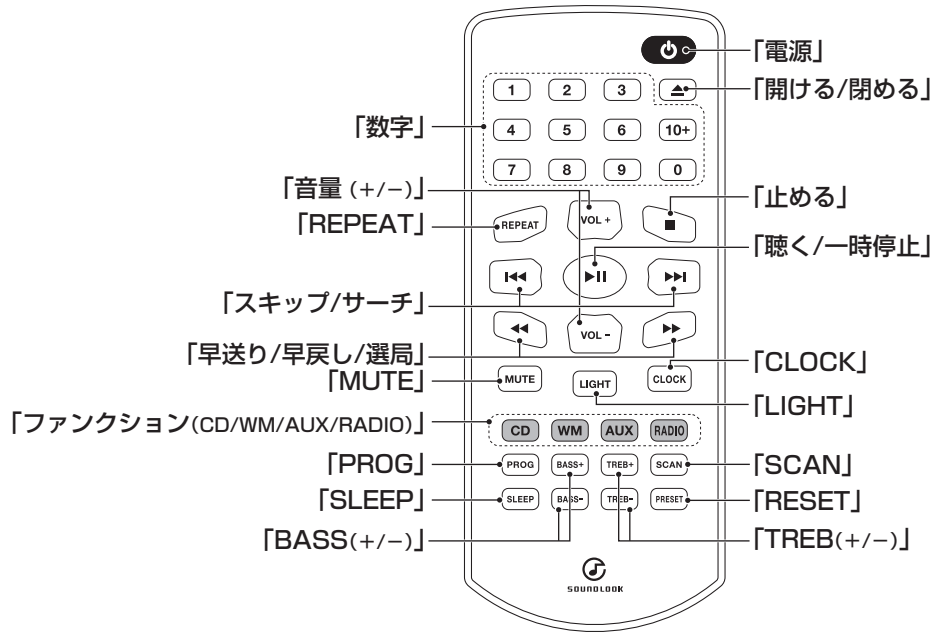
FMアンテナ

取扱説明書

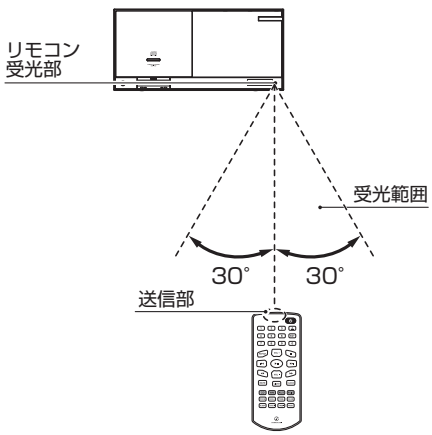
保証書

リモコンについて

リモコン



リモコンの使いかた



「MUTE」について

演奏中に

MUTE を押すと、消音になります。

●元に戻すには、もう一度 MUTE を押してください。

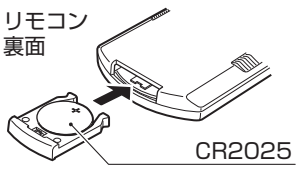
リモコンの電池について

ご使用前に、リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

リモコンにはボタン電池（CR2025）が付属しております。

リモコンの電池交換

①リモコンの背面の電池カバーを開ける。
②ボタン電池（CR2025）を入れ、電池カバーを閉める。



ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

準備する

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。
- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。
  雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。
その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。

●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを閉めておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

●周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。
このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。

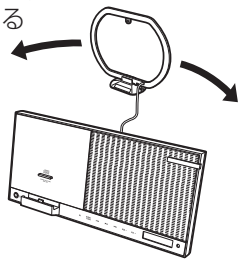
ラジオのアンテナを接続する

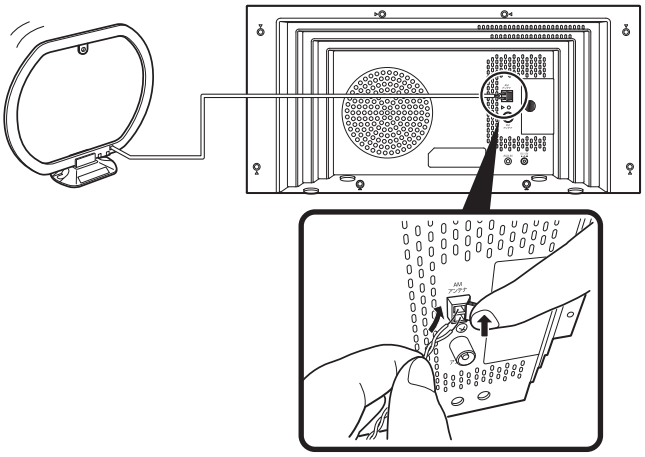
ラジオをきれいな音でお楽しみいただくには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてアンテナを設置してください。

AMアンテナ

AMアンテナを本体背面のAMアンテナ端子に接続します。

AMアンテナを動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。



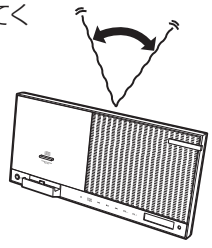


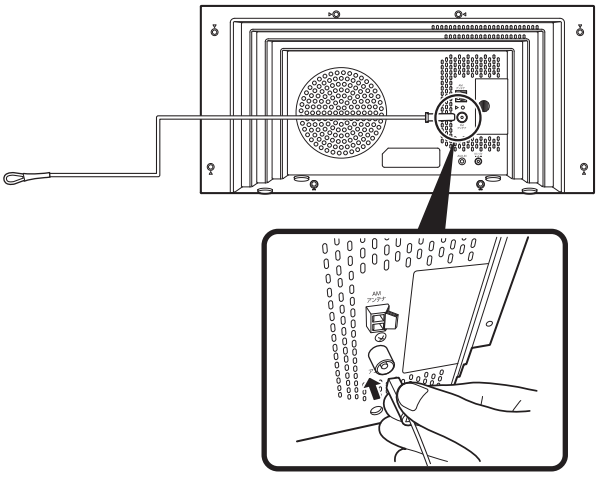
ツメを押しながらAMアンテナの導線をAMアンテナ端子の2つの穴にそれぞれ挟みます。

FMアンテナ

FMアンテナを本体背面のFMアンテナ端子に接続します。

できるだけ高い位置にFMアンテナを張ってください。





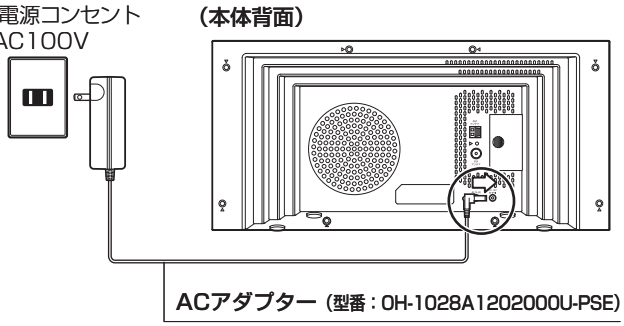
準備する

ACアダプターを接続する

1. ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックへ差し込む。
2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

ご注意

- **ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。**
  感電やショートして発火することがあります。
- **電源コードの上に重いものをのせないでください。**
  電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。
- **ACアダプターを本体に差し込むときは、操作パネル部分を触らないでください。**
  電源を入れた後、正しく操作ボタンが動作しないことがあります。



※付属のACアダプターは、SDS-1500専用です。他の製品には使用しないでください。
※使用中、熱くなりますが異常ではありません。

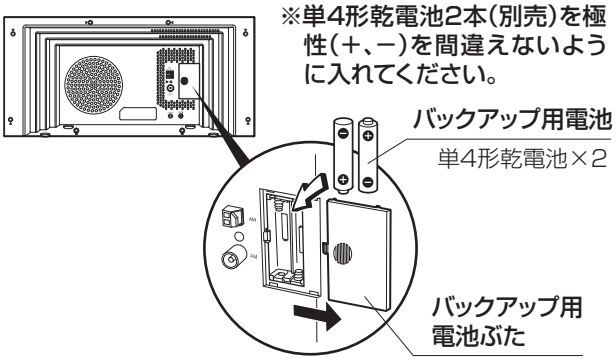
バックアップ用電池について

■停電時や乾電池切れの時に、設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。

1. バックアップ用電池ぶたを開ける。
2. 単4形乾電池2本(別売)を入れ、バックアップ用電池ぶたを閉める。

ご注意

- **本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。**
- **乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。**
  - 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
  - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
  - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
  - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。



バックアップ用電池の交換目安

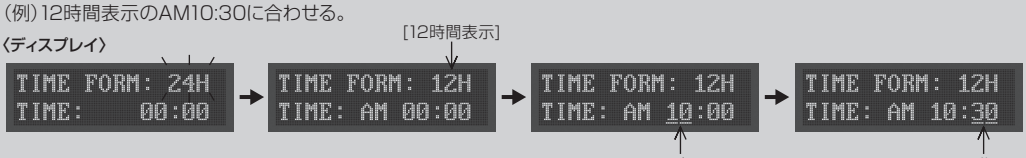
ACアダプター使用有無にかかわらず約1年半です。
(アルカリ乾電池使用時)

時計の合わせかた

1. **リモコンの** CLOCK **を長押しする。**
2. **リモコン・本体の** VOL − / VOL + **を押して[12時間表示]か[24時間表示]を選ぶ。**
3. **リモコン・本体の** ⏮ / ⏭ **を押して[時][分]の設定したい項目を選ぶ。**
4. **リモコン・本体の** VOL − / VOL + **を押して[時][分]を設定する。**
5. **再度リモコンの** CLOCK **を押して設定を保存する。**

(例)12時間表示のAM10:30に合わせる。

〈ディスプレイ〉



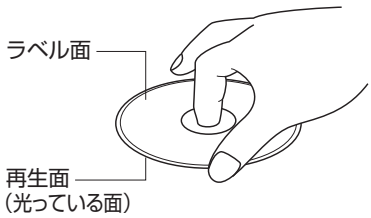
※時計設定後、いずれのファンクションでも CLOCK を押すと、時間を約5秒間確認することができます。

CDを聴く

CDについて

CDの持ちかた

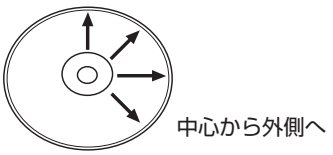
再生面に触れないように、CDの端を持ってください。



- 再生面やラベル面に紙やテープなどを貼らないでください。
- CDは曲げないでください。

CDのお手入れ

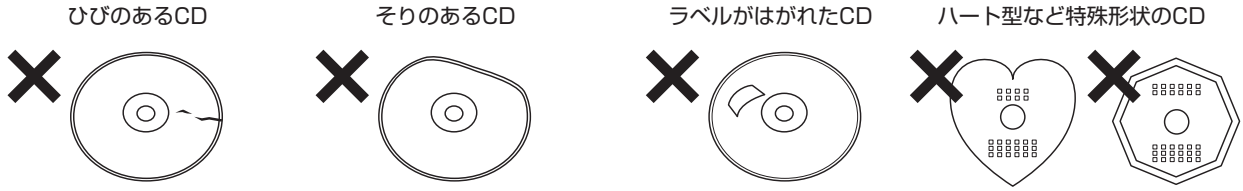
指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで中心から外側へと拭きとってください。



- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールで拭かないでください。

使用できないCD

故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。



※本機は購入された音楽CDおよび、CD-R/RWに記録されたCDの再生が可能です。
ただし、CDや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

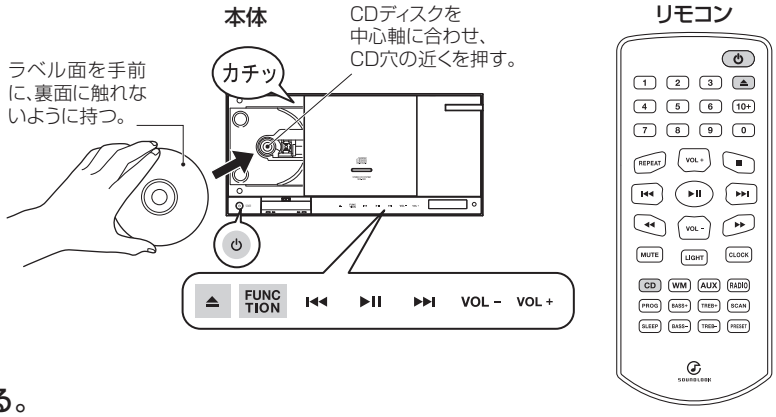
CDをセットする

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。

1. リモコン・本体の ⏻ を押し 電源を入れる。

2. リモコンの CD を押す。 または本体の FUNC TION を押して [CD]を選ぶ。

3. リモコン・本体の ⏏ を押し CDドアを開け、CDをセットする。



※CDドアを開閉すると、自動的に[CD]ファンクションに切り換わります。

- **CDドアを閉めるには、もう一度 ⏏ を押す。**
- 1曲目から演奏が自動的に始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。

- **本体**の FUNC TION は、押すごとに以下のように切り換わります。

[CD] → [WM] → [AUX] → [FM] → [AM]

ご注意

CDドアの開閉の際には、"ウォークマン" が装着されていないことを確認してから操作してください。
"ウォークマン" が装着されていると、CDドアの開閉はできません。

"ウォークマン"を装着したまま、CDドアを開閉した場合

〈ディスプレイ〉

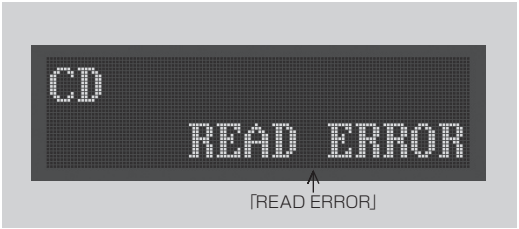
CDを聴く

ディスプレイの表示について

停止中

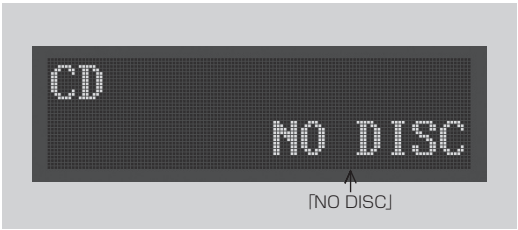
総曲数と総演奏時間が表示されます。

「READ ERROR」と表示された場合



信号を読み取ることのできないCDを挿入していることを示します。

「No DISC」と表示された場合



CDがセットされていないことを示します。

以下の項目を確認してください。
- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？（P. 17参照）
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 再生できないCDを挿入していませんか？（P. 8参照）

ご注意

●本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、CDや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
●CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
●コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
●直接ファイルを記録したCD（MP3ディスクやWMAディスク等）は再生できません。

音量を調節する	リモコン・本体の VOL + / VOL − を押す。 （最小値：0　最大値：40）
演奏を止める	リモコンの ■ を押す。
一時停止する	リモコン・本体の ▶II を押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。
早送りする	演奏中に リモコンの ▶▶ を押す。 ●演奏に戻るには ▶II を押す。 本体の ▶▶I を押し続ける。 ●演奏に戻るにはボタンから指を離す。
早戻しする	演奏中に リモコンの ◀◀ を押す。 ●演奏に戻るには ▶II を押す。 本体の I◀◀ を押し続ける。 ●演奏に戻るにはボタンから指を離す。
曲の頭を探す（スキップ）	演奏中に リモコン・本体の I◀◀ を押す。 ●演奏中の曲の頭に戻る。2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。 リモコン・本体の ▶▶I を押す。 ●次の曲の頭に進む。 停止中／一時停止中に リモコン・本体の I◀◀ / ▶▶I で聴きたい曲を選んだ後、▶II を押す。
ダイレクト選択（リモコンの数字ボタンを使い、直接番号を指定して演奏する）	リモコンの 数字ボタン 1 ～ 9 を押す。 曲番号10以上を指定する場合は、 10+ を押して十の位を指定した後、 1 ～ 9 を押して一の位を指定する。 <例>曲番号「25」を指定する場合 10+ を2回押した後、5 を押す。 ※CDの曲数より大きい番号は指定することはできません。

プログラム演奏（お好みの曲を予約順に聴く）

停止中に

1. リモコンの PROG を押す。

2. リモコン・本体の ⏮ ⏭ または リモコンの数字ボタンで お好みの曲を選び リモコンの PROG を押す。

3. 上記2の操作を繰り返し、予約していく。

- 最大20曲まで予約できます。
- 曲を選び間違えた場合、リモコンの ■ を押します。1つ前の設定に戻ります。

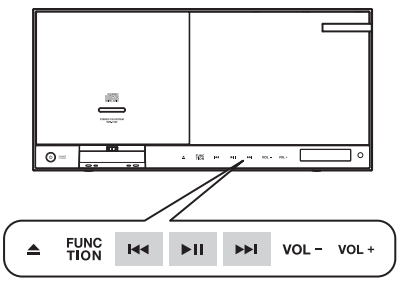
4. リモコン・本体の ⏯ を押す。

- プログラム演奏が始まります。

（例）プログラム番号1に曲番号2を予約

〈ディスプレイ〉

本体



リモコン

プログラム演奏を終了する	リモコンの ■ を1回押す。
プログラム演奏を解除する	リモコンの ■ を2回押す。 リモコン・本体の ⏻ を押す。 リモコン・本体の ⏏ を押す。

※ファンクションを他の操作（[WM]/[AUX]/[FM]/[AM]）に切り換えても、プログラム内容は維持されます。

リピート/ランダム演奏

演奏中／停止中に

リモコンの REPEAT を押して再生モードを選ぶ。

- 押すごとに設定が変わります。

- **停止中** の場合
  設定後、リモコン・本体の ⏯ を押す。

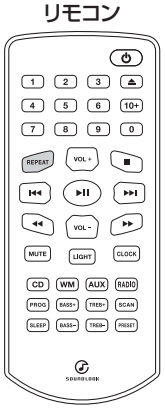
〈ディスプレイ〉

- **1曲リピート**…… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- **全曲リピート**…… 全曲を繰り返し演奏します。
- **ランダム演奏**…… 全曲を無作為に繰り返し演奏します。

演奏中 に設定した場合
演奏終了後、ランダム演奏がスタート

停止中 に設定した場合
1曲目終了後、ランダム演奏がスタート

リモコン



リピート/ランダム演奏を終了する	リモコンの ■ を1回押す。 （演奏を停止するとリピート/ランダム演奏は解除され、通常演奏モードになります。）

“ウォークマン” を楽しむ

“ウォークマン”ご利用の前に

- 動作確認済み機種以外の機種の動作は保証しておりません。
- 本製品に“ウォークマン”は付属しておりません。

“ウォークマン”対応機種

動作確認済み機種（2012年9月現在）

シリーズ	機種名
Aシリーズ	NW-A808, NWZ-A826, NW-A845, NW-A855, NW-A865, NW-A916
Sシリーズ	NWZ-S544, NWZ-S615F, NW-S636, NW-S744, NW-S750, NW-S764
Eシリーズ	NWZ-E435F, NW-E443, NW-E454, NW-E052 / NW-E053, NW-E062
Xシリーズ	NW-X1050 / NW-X1060
Zシリーズ	NW-Z1050 / NW-Z1060

※NW-S600シリーズ、NW-S700Fシリーズには対応していません。
※本製品はソニー株式会社の公式ライセンスプログラムDesigned for Walkman®に準拠しています。
※“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMANロゴ”は、ソニー株式会社の登録商標です。

ご注意

●本機が対応する“ウォークマン”は、本機での再生のみに対応する機種となります。本機での録音、“ウォークマン”の曲、フォルダの削除はできません。
●“ウォークマン”をフォーマットするときは、“ウォークマン”本体の機能（メモリーの初期化機能）を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの再生が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
●本機は“ウォークマン”の動作のすべてを保証するものではありません。
●本機に“ウォークマン”を接続するときは、「データベース作成中」の表示が“ウォークマン”の表示窓から消えていることを確認してから接続してください。
また、“ウォークマン”のホームメニューで＜ミュージック＞や＜ポッドキャスト＞など、ライブラリを選択して、停止状態にしてから、本機に接続してください。
●再生中に、本機から“ウォークマン”を取り外さないでください。“ウォークマン”のデータが破損したり、“ウォークマン”本体が故障するおそれがあります。
●ご使用の“ウォークマン”の機種によっては、本機の操作に対する反応が遅れる場合があります。
●次のケースでは、再生ができないことがあります。
- フォルダあたりのファイル数が999を超えた場合
- ファイル数（MP3形式のファイルの総数）が999を超えた場合
- フォルダ数が999を超えた場合（空フォルダ、ROOTフォルダなどすべてのフォルダを含む）

※パソコンから“ウォークマン”にドラッグアンドドロップで転送したMP3形式の曲が対象になります。

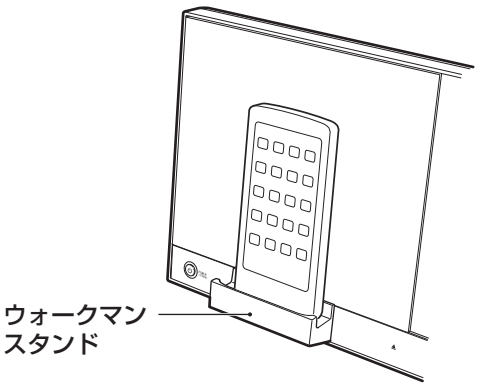
“ウォークマン”の充電について

■本機は、本機の電源が「入」／「待機状態」どちらの状態でも“ウォークマン”をWM-PORTコネクターに接続すると、自動的に充電を開始します。

本機の電源が「入」の状態で充電する場合は、充電中も“ウォークマン”の音声を再生できます。

ご注意

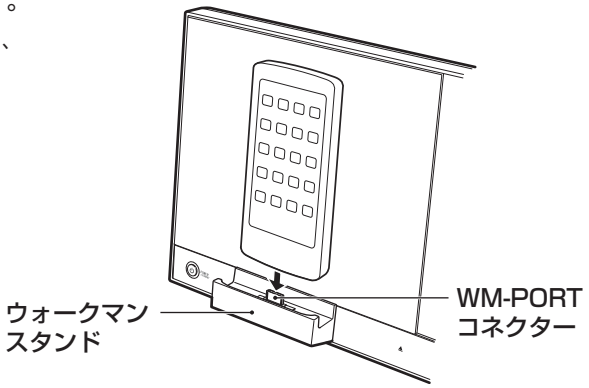
- **本機で“ウォークマン”を充電中、“ウォークマン”本体の画面表示が消える場合があります。画面表示が消えても“ウォークマン”への充電は継続しています。**
- **コンセントからの電源供給がない状態で本機に“ウォークマン”を接続した場合、あとから本機の電源を入れても“ウォークマン”は充電されません。**



“ウォークマン”を取り付ける

“ウォークマン”を本機のWM-PORTコネクターに接続します。

WM-PORTコネクターにプラグ位置を合わせて奥まで挿入し、まっすぐに立て掛けます。



ご注意

- **“ウォークマン”を抜き挿しするときは、WM-PORTコネクターの角度に沿ってまっすぐ抜き挿ししてください。また、WM-PORTコネクターが破損するおそれがあるため、“ ウォークマン”をひねったり、反らせないようご注意ください。**
- **“ウォークマン”を接続したままの状態で、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。**
- **“ウォークマン”を抜き挿しするときは、本機をしっかり手で押さえ、“ウォークマン”の操作ボタンを誤って押さないようご注意ください。**
- **本機のWM-PORTコネクターは、“ウォークマン”専用です。“ウォークマン”以外のポータブルオーディオプレーヤーを接続しないでください。**
- **Bluetooth機能付きの“ウォークマン”は、Bluetooth機能を解除してからお使いください。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。**
- **音が出ないなどの問題が発生した場合は本機から“ウォークマン”を取り外し、接続し直してください。**
- **“ウォークマン”を本機で使用しているときは、“ウォークマン”のヘッドホン端子には音声は出力されません。**
- **FMチューナーやワンセグチューナー搭載の“ウォークマン”を本機で使用すると、放送が受信できなかったり、感度が低下することがあります。**
- **音量は、SDS-1500本体または****リモコンの** VOL + VOL − **を使って調節してください。“ウォークマン”側で音量を調節しても、音量は変わりません。**
- **“ ウォークマン”を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。**

“ウォークマン” を楽しむ

“ウォークマン”の曲を聞く

■別売りの“ウォークマン”を本機と接続することで、“ウォークマン”の音楽や音声データを聞くことができます。

- 再生に対応している“ウォークマン”については、「ウォークマン対応機種」(P. 11)をご覧ください。
- あらかじめ“ウォークマン”に音楽を取り込んでおいてください。

1. リモコン・本体の ⏻ を押して電源を入れる。

2. リモコンの WM を押す。
または本体の FUNC TION を押して、[WM]を選ぶ。

3. “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクターに接続する。

〈ディスプレイ〉

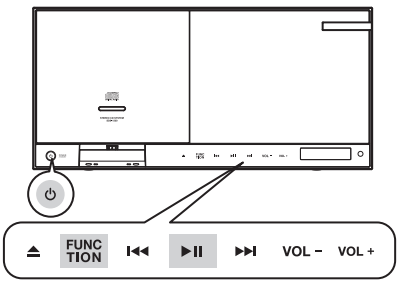
- “ウォークマン”を接続する前に、“ウォークマン”のホームメニューで<ミュージック>や<ポッドキャスト>など、ライブラリを選択して、停止状態にしてください。

4. リモコン・本体の ▶II を押して、演奏を開始する。

ご注意

●再生中は“ウォークマン”をWM-PORTコネクターから抜かないでください。

本体



リモコン

- **本体**の FUNC TION は、押すごとに以下のように切り換わります。

[CD] → [WM] → [AUX] → [FM] → [AM]

※“ウォークマン”本体でも、再生/一時停止/曲戻し/曲送りの操作が可能です。

音量を調節する	リモコン・本体の VOL + VOL − を押す。 (最小値:0　最大値:40)
演奏を止めるる	リモコンの ■ を押す。
一時停止する	リモコン・本体の ▶II を押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。
早送りする	演奏中に リモコンの ▶▶ を押し続ける。　本体の ▶▶I を押し続ける。 ●演奏に戻るにはボタンから指を離す。
早戻しする	演奏中に リモコンの ◀◀ を押し続ける。　本体の I◀◀ を押し続ける。 ●演奏に戻るにはボタンから指を離す。
曲の頭を探す(スキップ)	演奏中に リモコン・本体の I◀◀ を押す。 ●演奏中の曲の頭に戻る。2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。 リモコン・本体の ▶▶I を押す。 ●次の曲の頭に進む。 停止中／一時停止中に リモコン・本体の I◀◀ ▶▶I で聴きたい曲を選んだ後、▶II を押す。

ラジオを聴く

ラジオを聴く際は、付属のアンテナを接続してください。（P. 6参照）

1. **リモコン・本体の** ⏻ **を押して電源を入れる。**

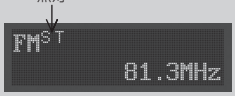
2. **リモコンの** RADIO **をして[FM]/[AM]を選ぶ。**
または本体の FUNC TION **を押して[FM]/[AM]を選ぶ。**

3. **リモコンの** ◀◀ ▶▶ **を押して聴きたい局を選ぶ。**

- ラジオを切るには **リモコン**・または**本体**の ⏻ を押す。

〈ディスプレイ〉

FMステレオ受信時
点灯

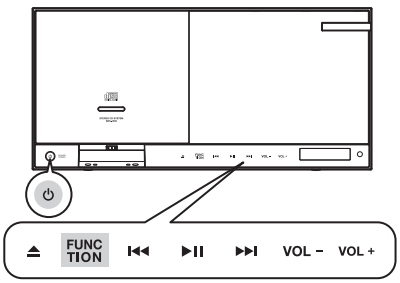


※通常はFMステレオ受信です。

FMモノラル受信時

※電波が弱い場合は自動的にFMモノラル受信に切り換わります。

本体



リモコン

- **本体**の FUNC TION は、押すごとに以下のように切り換わります。

[CD] → [WM] → [AUX] → [FM] → [AM]

オートチューニング（受信できる局を自動的に探します。）	リモコンの ◀◀ ▶▶ を約1 ～ 2秒長押しする。

プリセット機能（お好みの放送局を登録する）

■お好みの放送局を最大AM10局、FM10局まで登録できます。

※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に登録されていた前の局は消えます。

手動で登録する

1. **登録したい放送局を受信する。**

2. **リモコンの** PRESET **を押す。**

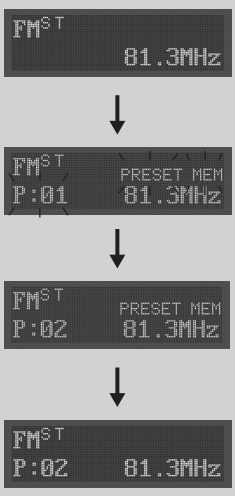
3. **リモコン・本体の** ⏮ ⏭ **で登録したいプリセット番号を選ぶ。**

4. **再度リモコンの** PRESET **を押し、登録を確定させる。**

5. **上記1 ～ 4の操作を繰り返す。**

（例）プリセット番号2[FM81.3]

〈ディスプレイ〉



自動で登録する

■自動的に低い周波数から高い周波数へとスキャンし、受信可能な放送局をプリセット番号1から順次登録します。

リモコンの SCAN **を長押しする。**

- 受信環境によっては10局登録されない場合があります。
その場合は、最後に登録されたプリセット番号と周波数がディスプレイに表示されます。

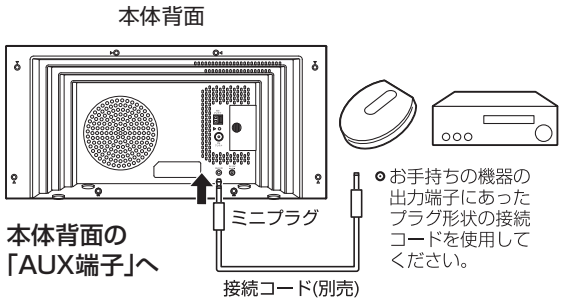
登録した放送局を聴く

リモコン・本体の ⏮ ⏭ **で登録した聴きたい放送局のプリセット番号を選ぶ。**

外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

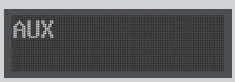
1. 本体背面のAUX-IN端子と外部の音声機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。



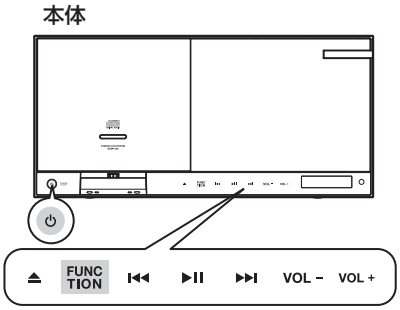
2. リモコン・本体の [⏻] を押し電源を入れる。

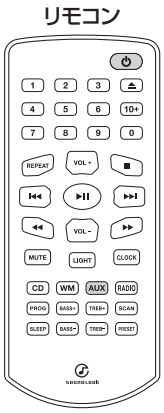
3. リモコンの [AUX] を押す。
または本体の [FUNC TION] を押して[AUX]を選ぶ。

〈ディスプレイ〉



4. 外部に接続した音声機器の演奏をはじめる。
- 聴き終わったら、リモコン・本体の [⏻] を押す。





- 本体の [FUNC TION] は、押すごとに以下のように切り換わります。

[CD] → [WM] → [AUX] → [FM] → [AM]

音量に過不足を感じるとき	本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。 ※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

スリープ機能について

■設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

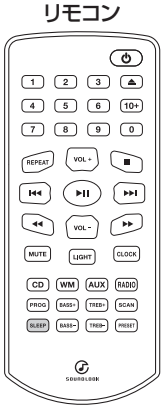
演奏中に

リモコンの [SLEEP] を押して設定したい時間に合わせる。
- 押すごとに設定時間が切り換わります。

[15M] → [30M] → [45M] → [60M] → [90M] → [120M] → [OFF] スリープ解除

(例)"ウォークマン"使用時
45分に設定

〈ディスプレイ〉



スリープ機能を解除する	リモコンの [SLEEP] を押してディスプレイの[SLEEP]を消す。	残り時間を確かめる	スリープ機能作動中 リモコンの [SLEEP] を1回押す。

音質調整について

■低音域、高音域の音量を調節してお好みの音質に調整できます。

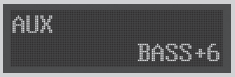
低音域の音量を調節する

リモコンの BASS+ **を押して低音域を上げる。**

- “+2”、“+4”、“+6”、“+8”の4段階の調節ができます。

(例)

〈ディスプレイ〉



リモコンの BASS- **を押して低音域を下げる。**

- “−2”、“−4”、“−6”、“−8”の4段階の調節ができます。

(例)

〈ディスプレイ〉

リモコン

高音域の音量を調節する

リモコンの TREB+ **を押して高音域を上げる。**

- “+2”、“+4”、“+6”、“+8”の4段階の調節ができます。

(例)

〈ディスプレイ〉

リモコンの TREB- **を押して高音域を下げる。**

- “−2”、“−4”、“−6”、“−8”の4段階の調節ができます。

(例)

〈ディスプレイ〉

リモコン

ディスプレイのバックライトについて

■リモコン・本体の ⏻ **を押して電源を入れると、ディスプレイのバックライトが点灯します。**

リモコンの LIGHT **を押して**
ON(常時点灯)またはOFF(消灯)を選ぶ。

- バックライトOFF(消灯)設定時でも、ボタン操作をすると、一時的にバックライトが点灯し、約10秒後に自動消灯します。
- 電源が切れている状態で、**リモコン**の LIGHT を押すと、一時的にバックライトが点灯し、約10秒後に自動消灯します。この時、ディスプレイには現在の時刻が表示されます。

本体

ディスプレイ

リモコン

お手入れのしかた

本体のお手入れ

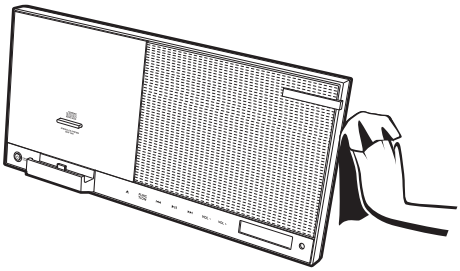
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



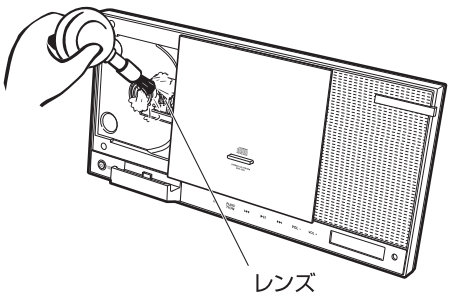
レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のブロアーで2～3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをブロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

受信周波数	FM：76～108MHz AM：522～1629kHz	電源	AC100V　50/60Hz （付属ACアダプター使用時）
アンテナ	FM：ワイヤーアンテナ AM：ループアンテナ	消費電力	24W
スピーカー	左/右：35mm（4Ω） サブウーファー：92mm（6Ω）	最大外形寸法	約410(幅)×125(奥行)197(高さ)mm
入力端子	AUX端子×1	質量	約2.1kg（乾電池含まず）
実用最大出力	1.5W＋1.5W サブウーファー 6W （JEITA）	付属品	ACアダプター リモコン 取扱説明書 保証書 FMアンテナ AMアンテナ

●ACアダプター（型番：OH-1028A1202000U-PSE）

入　力	AC100-240V 50/60Hz 800mA	コード長	約1.8m
出　力	DC12V　2A	プラグ形状	Φ5.5mm ⊖—◉—⊕

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

症　状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	ACアダプターがはずれていませんか?	正しく接続してください。
CDの再生ができない。 「NO DISC」「READ ERROR」の表示が出る。	CDの表裏を間違えていませんか?	ラベル面を手前にしてください。
	CDがひどく汚れていませんか?	汚れを落としてください。
	レンズが汚れていませんか?	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 17参照)
	レンズに霧や水滴がついていませんか?	霧や水滴がなくなるまで、室温で置いてください。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか?	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか?	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか?	CDを替えて試してください。
	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
“ウォークマン”の演奏ができない。	“ウォークマン”がWM-PORTコネクターにしっかり差し込まれていますか?	“ウォークマン”をWM-PORTコネクターにしっかり差し込んでください。
	“ウォークマン”のライブラリを選択し、停止状態にしてから本機に接続していますか?	“ウォークマン”を本体に接続する前に、“ウォークマン”のホームメニューで<ミュージック>や<ポッドキャスト>など、ライブラリを選択して、停止状態にしてください。
リモコンで操作できない。	電池が正しい方向で入っていますか?	電池の＋、－を確かめてください。
	電池が消耗していませんか?	新しい電池と交換してください。
	リモコンと本体の間に障害物がありませんか?	障害物を取り除いてください。

リセットについて

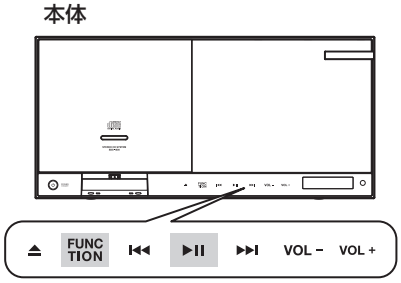
使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は、以下の操作を行ってください。

1. 付属のACアダプターを電源コンセントから抜いて、約10秒後に再び電源コンセントに差す。

2. 電源を入れ、本体の FUNC TION と ▶II を同時に5秒間押す。

- 工場出荷時の初期状態になります。
- 時刻設定、ラジオのプリセット登録、音量等の設定はすべて消去されます。

本体



アフターサービスについて

1. 保証書

● 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか
- ●電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- ●電源コードに深いキズや変形がある。
- ●コゲくさい臭いがする。
- ●その他の異常、故障がある。

▶ ご使用中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。
〈利用目的〉
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。
尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
〈業務委託の場合〉
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

■お客様相談窓口
この商品に関するご意見･ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
ナビダイヤル（全国共通番号） TEL. 0570(07)5555
TEL.06(6262)3561
FAX.06(6268)1432

■サービスセンター
・修理センター
この商品の修理に関するお問い合せについては下記へお寄せください。

東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号
ナビダイヤル（全国共通番号） TEL. 0570(05)8888

・部品センター
この商品の部品に関するお問い合せについては下記へお寄せください。

部品センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号
ナビダイヤル（全国共通番号） TEL. 0570(00)3211

お客様相談窓口
／サービスセンターの受付時間
平日9：00～17：30
（土･日･祝日･夏季休暇･年末年始を除く）

2012年9月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

★★21